

令和6年度計画重点項目

1. 県民からの期待に応える存在意義の高い大学

- 島根県が策定する第4期中期目標を踏まえ、人材育成や地域貢献など大学の運営方針と具体的な成果指標を示す第4期中期計画を策定する。(No. 1-1)
- 魅力化推進本部は、大学の魅力化や島根創生に資する重要施策を機動的かつ戦略的に推進する。(No. 1-2)

2. 地域に貢献する人材を輩出する大学

- 「YASUGI未来アトリエ」(安来市)や「石見銀山まちを楽しくするライブラリー」(大田市)、「はまだ未来アトリエ」(浜田市)、「津和野サテライトオフィス」(津和野町)などのサテライト施設を拠点として、島根創生を担う人づくりに資する実践的な地域教育や高大連携事業に取り組む。また、包括的連携協定に基づき自治体などと更なる拠点づくりを検討する。(No. 1-3)
- しまね産学官人材育成コンソーシアム、自治体、商工団体等と連携して、地域の担い手となる人材の県内定着に資する企画を実施する。(No. 44-1)
- 大学と企業等が連携して設計した長期実践型キャリア教育(旧称:長期インターンシップ)について、効果検証を通じて継続的に実施する。(No.44-4)

3. 地域が抱える諸課題に対応する研究及び教育を重視する大学

- しまね地域国際研究センターは、島根県が抱える地域および国際的な課題に関する研究を助成し、「KENDAI縁結びフォーラム」において研究成果を地域に還元すると同時に、自治体、県内企業、NPO法人、中山間地域研究センターなど各機関との連携を強化する。(No. 58-2)
- 科研費に関して、学外の申請書添削支援サービスの拡充や申請に関する説明会や講習会の質と量の向上、さらに、各キャンパスの特性に合わせた学内支援制度の活用により、前年度を上回る申請率・採択率を達成する。また、研究支援委員会の科研アドバイザー(外部資金獲得WGメンバー)やURA(ユニバーシティ・リサーチ・アドミニストレーター)による研究支援を行う。(No. 55)

4. 国際交流・海外留学等の促進

- 異文化・語学研修(短期留学制度)を積極的に周知を行い、学生の参加を促進する。また、留学希望者への支援や、グローバル人材育成支援事業など各種プログラムへの参加の呼びかけと支援を行う。さらに、学生が安全で安価に質の高い海外留学ができる交流先大学を開拓する。(No. 29-2)

5. 理事長・学長のリーダーシップのもと機動的かつ戦略的な運営を行う大学

- 魅力化推進本部は、大学の魅力化や島根創生に資する重要施策を機動的かつ戦略的に推進する。(No. 1-2)
- 学内外の環境の変化に応じ、大学運営シミュレーションを見直し、新たな財源の確保、削減すべき経費の検討を進める。(No. 65)